

エアコンプレッサの台数制御で 投資回収1.2年のシュミレート結果

工場のエネルギーの多くを消費するエアコンプレッサは稼働の最適化で大きな省エネ効果



《シュミレート条件》

- ・コンプレッサ75kW×1台+37kW×3台
- ・1週間の流量・圧力・電力を実測し、同様の流量・圧力で制御運転をした場合のシュミレート
- ・電力単価18円/kWh
- ・年間300日稼働

導入効果シミュレーション 無料にて実施しています

- 独自制御で制御盤がない
- 制御盤はあるが古くなっている
- 分散設置で制御していない
- 設置方法を検討している(分散化)
- 冷水ポンプ等の外部に信号を発信させたい

アイティーアイ・コンプレッサ株式会社 PRESAGEシリーズ

制御盤導入で約8%,年間340万円相当の
省エネ効果が期待

日本全国での導入実績ある台数制御盤

※シュミレート結果であり効果を保証するものではありません

1つでも当てはまる場合は
投資効果が期待できます



濱坂電機株式会社

脱炭素提案営業チーム 担当：新井（アライ）

群馬県伊勢崎市境伊与久1938 TEL (0270) 76-5591 FAX (0270) 76-5590

Mail: carbon-z@hamasaka.co.jp



CDP回答スケジュール 公開されました

脱炭素系の主たる取り組みの一つであるといえるCDPの2025年スケジュールが発表されています。CDPは100を超える設問に回答をしていく中で、自社の気候変動問題に対する取り組みのレベル感をランク分けで評価されるというものになります。

《CDP2025スケジュール》

・3月31日週 質問書と報告ガイダンス公開

・4月28日週 スコアリング基準公開

・6月16日週 回答ポータルオープン(回答開始)

・9月15日週 スコアリング対象となる回答提出期限

なお、設問については極力変更しないという旨が発表されています。

CDPは2024年に世界で24000社以上、日本国内でも2100社以上が回答しています。回答者数は年々増える傾向にあります。これから回答要請を受けることになる企業も増えていくでしょう。本件については、当社も情報収集を進めてまいります。

工事事例のご紹介

水冷式コンプレッサの二次側ポンプ制御



課題

- ・水冷式のコンプレッサを使用
- ・コンプレッサの稼働に合わせて冷却量は定まるもののポンプが稼働し続け余剰な電力を消費している

解決

- ・コンプレッサの台数制御盤からコンプレッサの稼働状況に関する信号を発信させ、ポンプをインバータ制御することで消費電力の低減を実現させた

ハマNavi通信 Staffより

エネルギー消費が大きい
ユーティリティ設備も
制御方法の変更で
省エネ効果が期待

脱炭素提案営業チーム
熊倉

工場全体の省エネ・脱炭素化を推進する上で、多くのエネルギーを消費する設備への対策が大きな効果を生むことは、広く認識されています。中でもエアコンプレッサは、省エネ対策を進める上で特に注目すべき設備の一つと言えるでしょう。

一台のコンプレッサに対しても、多岐にわたる省エネ手法が存在します。具体的には、エア消費量の最適化、エア漏れの防止対策、給気温度の管理といった基本的な改善策に加え、私どもが今回ご提案しております制御システムの最適化などが挙げられます。さらに、補助制度を活用した最新鋭機への更新も、有効な施策の一つです。省エネの可能性を一緒に検討させていただければと思います、お気軽にご相談ください。



濱坂電機株式会社

脱炭素提案営業チーム 担当：新井（アライ）

群馬県伊勢崎市境伊与久1938 TEL (0270) 76-5591 FAX (0270) 76-5590

Mail: carbon-z@hamasaka.co.jp



脱炭素のご相談から電気設備・電気制御まで、右記のQRコードよりご相談ください！